

# トモシンセシスマンモグラフィのご案内

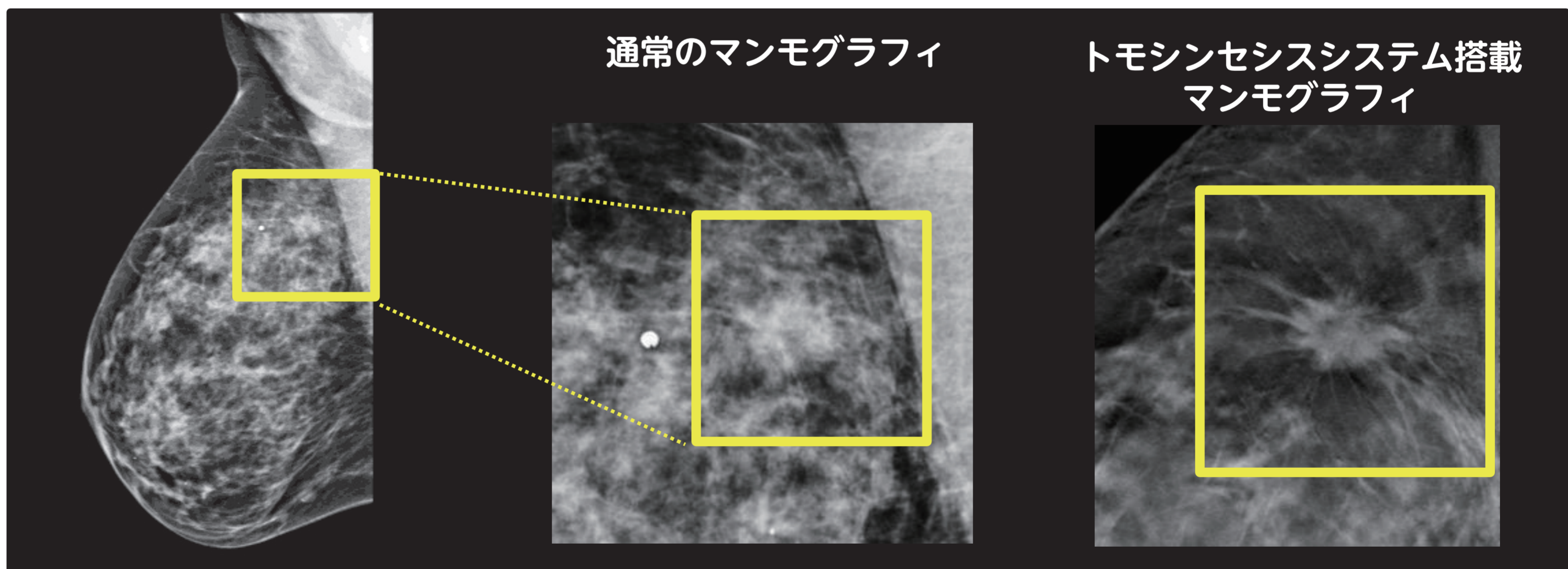
当院では、受診者様にやさしい、最新鋭のマンモグラフィ撮影装置を導入しました

## トモシンセシスの撮影

1回の撮影時間は数秒です。  
今までと同等の検査時間でトモシンセシスの撮影を行うことができます。乳房をはさみ、1回の圧迫につき15回撮影します。

## トモシンセシスの特徴

3次元的に再構成した鮮明な断層像を作り出し、これまで見えにくかった乳房の内部の病変をわかりやすくとらえることが可能となります。



## 数々の臨床試験にてトモシンセシスの有用性が証明された装置

トモシンセシスを通常のマンモグラフィ検査に追加することで、診断の精度が向上し、非癌症例に対する要精検率が低下することが証明され、トモシンセシスの有効性は示されています。

要精検率が低下

40%

41%

浸潤癌の検出率が向上



# 乳癌の早期発見のために

マンモグラフィ（乳房撮影用×線診断装置）

乳房×線撮影は、視診・触診では発見・診断しづらい微小がんをはじめ、微細石灰化などの乳腺疾患を早期にとらえることができます



日本の検診受診率は極めて低く、島根県では乳癌の罹患率が年々増加傾向にあり、女性のがん罹患率の中でも上位になっています。検診による早期発見、早期治療により乳癌による死亡率を減少させることができます。



## マンモグラフィの特長

触診で触れることのできない乳がんの初期症状である石灰化の描出に優れています

## 撮影方法

圧迫板と呼ばれる透明の板で片方ずつ乳房を固定して撮影します

## 撮影時の痛み

人によって異なりますが、多少の傷みを伴います。なるべく腕や肩の力を抜くと痛みがやわらぎます。



検査をご希望の方は受付にてご相談ください

出雲市立総合医療センター

Izumo city General Medical Center